

資 料 編

参考資料1：北方領土隣接地域における観光・学習施設

自治体名	施設名	分野	内容	所要時間	受け入れ期間	最大(名)	最少(名)	修学旅行の受け入れ実績	モデルルートの掲載の有無
根室市	根室市春国岱原生野鳥公園ネイチャーセンター	環境学習・自然体験	ウォーターレジャ-体験(カヌー)	1~6時間	通年	7~8名	2名	有	
		環境学習・自然体験	フィールドレジャ-体験(乗馬)	1~3時間	通年	-	2名	無	
		環境学習・自然体験	ネイチャ-ウォッチング体験(バードウォッチング)	3~6時間	通年	-	2名	無	
		環境学習・自然体験	ネイチャ-ウォッチング体験(氷上バードウォッチング)	3~6時間	1~3月	-	2名	無	
		環境学習・自然体験	ネイチャ-ウォッチング体験(ガイド一日チャーターサー)	12~24時間	通年	-	1名	無	
		農林漁業・食体験	酪農体験	1~3時間	通年	-	2名	無	
明郷 伊藤 牧場	明郷 伊藤 牧場	農林漁業・食体験	牧場見学	30分	通年	-	-	有	「北方領土学習のご案内」
		農林漁業・食体験	バタ-作り体験	30分	通年	-	1名	有	
		農林漁業・食体験	牧場体験	2時間	通年	-	1名	有	
		農林漁業・食体験	酪農家体験	4時間	通年	-	1名	無	
		環境学習・自然体験	根室フットバス自然散策	2時間	通年	40名	-	無	
根室ヨット協会	環境学習・自然体験	ウインターレジャ-体験(アイスヨット)	-	1~2月	20名	-	-		
AB-MOBIT 築拓キャンプ場	環境学習・自然体験	根室フットバス(厚床バス)ウォーキング	3時間	通年	15名	-	-		
AB-MOBIT 農産物加工体験館「食多楽」	農林漁業・食体験	蕎麦打ち体験	1時間	通年	1名	20名	無		
	農林漁業・食体験	ソ-セ-ジ作り	1時間	通年	1名	20名	有		
	農林漁業・食体験	アイスクリ-ム作り	40分	通年	1名	20名	有		
根室乗馬クラブ	環境学習・自然体験	フィールドレジャ-体験(乗馬)	要相談	通年	50名	1名	有		
根室春国岱海岸潮干狩場	環境学習・自然体験	潮干狩	満潮、引き潮による	4月下旬~8月上旬	-	-	-	無	
ねむろ自然ガイド・ラクル	環境学習・自然体験	自然散策等	2時間~	通年	-	-	-		
村島牧場	農林漁業・食体験	ほ育体験、牧場見学、牧場内散策	-	通年	-	-	-		
落石ネイチャ-クル-ズ協議会	環境学習・自然体験	ネイチャ-クル-ズ	2~5時間	通年	96名	3名	無		
北海道立北方四島交流センター	平和学習	北方領土に関する資料、映像、展示物等の見学	1時間	通年	200名	-	有	「北方領土学習のご案内」	
北方館・望郷の家	平和学習	北方領土問題の発生の状況や歴史的経緯に関する展示資料の見学	30分~60分	通年	200名	-	有	「北方領土学習のご案内」	
富岡牧場	農林漁業・食体験	ほ育体験、牧場見学、牧場内散策	-	3~10月	-	-	-		
小笠原牧場	農林漁業・食体験	搾乳体験、ほ育体験、牧場見学、牧場内散策	-	通年	-	-	-		
歴史と自然の資料館	歴史・文化学習	根室の郷土資料や天然記念物のタンチョウ等の標本の展示見学	30分	通年	20名	-	無		
和田屯田記念館	歴史・文化学習	屯田兵が使用した生活用品や写真などの展示見学	-	通年	-	-	-	無	
働く森美術館 チヌカルコロ・ミュージアム	歴史・文化学習	画家・茂木幹氏の施設美術館	10分	通年	10名	-	無		
別海町	まきばの宿(野付ライディングファーム)	環境学習・自然体験	コ-ス1周乗馬	5分	通年	制限なし	1名	有	
		環境学習・自然体験	乗馬	30分、45分	通年	5名	1名	無	
		環境学習・自然体験	ホーストレッキング	要相談	通年	2名	1名	無	
		農林漁業・食体験	牧場見学	要相談	通年	制限なし	1名	無	
別海町観光船	別海町観光船	環境学習・自然体験	あさり掘り	1.5時間	5月中旬~7月末	200名	2名	有	「北方領土学習のご案内」
		平和学習	国後クル-ジング	2~5時間	4月下旬~10月末	200名	2名	有	
		環境学習・自然体験	野付半島ネイチャ-ウォッチング	2時間	4月下旬~10月末	45名	5名	有	
		環境学習・自然体験	野付半島沖合ウォッチング	3時間	4月下旬~10月末	45名	5名	有	
		環境学習・自然体験	トドカラコ-ス	1時間50分	4月下旬~10月末	92名	1名	有	
		環境学習・自然体験	国後外洋クル-ズ	30分	6月下旬~10月末	92名	1名	有	

自治体名	施設名	分野	内容	所要時間	受け入れ期間	最大(名)	最少(名)	修学旅行の受け入れ実績	モデルルートの掲載の有無
奥尻町	奥山牧場	環境学習・自然体験	パ-クゴルフ場、遊歩道	-	5~11月	-	-	無	
		農林漁業・食体験	農業体験(牛搾乳・授乳等)	1泊	通年	19名	-	有	
	野付半島ネイチャーセンタ-	環境学習・自然体験	自然観察	要相談	通年	100名	2名	有	「北方領土学習のご案内」
	別海北方展望塔	平和学習	北方領土の写真や資料展示の見学	-	通年	-	-	-	「北方領土学習のご案内」
	奥行臼駅通所	歴史・文化学習	根室管内で44箇所実在した通所のうち、現存している唯一の建物の見学	10分	5~10月	30名	-	無	
	別海町郷土資料館	歴史・文化学習	郷土の歴史文化の展示見学	30分	通年	30名	-	無	
	加賀家文書館	歴史・文化学習	加賀家文書の展示見学	30分	通年	30名	-	無	
	別海町鉄道記念館	歴史・文化学習	国鉄「標津線」の歴史に関する新聞、雑誌、写真の展示見学	-	4月下旬~11月上旬	-	-	-	
中標津町	開阳台ウェスタントレール	環境学習・自然体験	ホ-ストレッキング体験	30分	5月上旬~10月下旬	30名	-	有	「北方領土学習のご案内」 展望館が掲載
		環境学習・自然体験	開阳台往復ホ-ストレッキング	3時間	5月上旬~10月下旬	5名	-	無	
		環境学習・自然体験	ミニ動物園(草食動物との触れ合い)	15分	5月上旬~10月下旬	-	-	有	
	中標津町畜産食品加工研修センター	農林漁業・食体験	チ-ズづくり	4時間	通年	10名	-	無	「北方領土学習のご案内」
		農林漁業・食体験	ソ-セ-ジづくり	3、5時間	通年	10名	-	無	
		農林漁業・食体験	アイスクリ-ムづくり	1時間	通年	40名	-	有	
		農林漁業・食体験	バタ-づくり	1時間	通年	40名	-	有	
道立ゆめの森公園	環境学習・自然体験	パ-クゴルフ	-	5月中旬~10月下旬	200名	1名	無		
乾牧場	農林漁業・食体験	牛・ヤギの搾乳	1時間	-	-	-	-	-	
	農林漁業・食体験	牛・ヤギの哺乳	30分	-	-	-	-	-	
	農林漁業・食体験	ヤギの餌やり	-	-	-	-	-	-	
	農林漁業・食体験	牧場見学	-	-	-	-	-	-	
中標津町郷土館	歴史・文化学習	郷土史学習	20分	通年	20名	-	無		
SUNBALOON CLUB(伊藤牧場)	環境学習・自然体験	熱気球フリ-フライト	40分	通年	3名	2名	無		
	環境学習・自然体験	熱気球係留フライト	3~5分	通年	3名	2名	無		
標津川のいかだ下り	環境学習・自然体験	いかだ下り	3時間	6~11月	8名	3名	無		
道東エコツ-リズムセンター	環境学習・自然体験	野生動物や自然とのふれあい体験	30分~1時間	通年	25名	1名	無		
上原農場	農林漁業・食体験	芋掘り体験	1時間	8月下旬~10月下旬	3000名	20名	有		
中標津に歩く道をつくる会	環境学習・自然体験	フットバスウォ-ク(市街~開阳台コ-スほか3コ-ス)	2~6時間	通年	制限なし	制限なし	無		
	環境学習・自然体験	フットバスウォ-ク(ゆったりたっぷり健脚満喫コ-ス)	5泊6日	6~9月	6名	-	無		
	環境学習・自然体験	フットバスウォ-ク(欲張りダイジェストコ-ス)	4泊5日	6~10月	6名	-	無		
	環境学習・自然体験	フットバスウォ-ク(ワンデイハイキング(各種4コ-ス))	3~5時間	6~9月	6名	-	無		
	中標津ホ-ストレッキング同好会	環境学習・自然体験	乗馬(初心者コ-スほか3コ-ス)	1~5時間	通年	5名	1名	無	
標津町	北方領土館	平和学習	北方領土セミナ-	3時間	通年	100名	-	有	
	生涯学習センタ-あすばる	平和学習	北方領土セミナ-	-	-	-	-	有	
	観光船	平和学習	北方領土セミナ-	-	-	-	-	有	
	漁港	農林漁業・食体験	漁業体験(見学)	1~5時間	通年	100名	-	有	
	町内鮭加工場	農林漁業・食体験	水産加工体験	1~5時間	8~10月	20名	8名	有	「北海道教育旅行ガイドブック」 「サ-モン博物館は「北方領土学習のご案内」にも掲載
	海の公園釣突堤	環境学習・自然体験	海釣り	3時間	5~11月	30名	-	有	
	町内渓流	環境学習・自然体験	川釣り(鮭つりなど)	3時間	6~10月	20名	-	有	
	標津サ-モン科学館	農林漁業・食体験	鮭学習プログラム	1~5時間	2~11月	-	-	有	

自治体名	施設名	分野	内容	所要時間	受け入れ期間	最大(名)	最少(名)	修学旅行の受け入れ実績	モデルルートの掲載の有無
標津町	町内酪農家	農林漁業・食体験	酪農体験	3時間	通年	100名	-	有	
	標津漁協市場	農林漁業・食体験	味覚体験(鮭チャンチャン焼)	3時間	通年	200名	-	有	
	標津町ボ-川史跡自然公園	農林漁業・食体験	いも煮体験	1.5時間	4月下旬～11月下旬	20名	5名	-	
		農林漁業・食体験	せんべい焼き体験	1.5時間	4月下旬～11月下旬	20名	10名	-	
		環境学習・自然体験	スノ-シュ-ウォ-キング	2～3時間	1～3月	20名	-	-	
		環境学習・自然体験	森を巡るガイドウォ-ク	2～3時間	5～11月	20名	5名	-	
	標津町ふるさと館	歴史・文化学習	郷土の歴史文化の展示見学	-	-	-	-	-	
羅臼町	観光船アルラン 世	環境学習・自然体験	ホエ-ルウォッ칭	2.5時間	2～3月 5～10月	67名	-	有	
	知床国立公園・羅臼ビジタ-センタ-	環境学習・自然体験	朝の自然観察会など	1.5時間～半日	不定期	10名	1名	無	
	知床ネイチャ-クル-ズ	環境学習・自然体験	知床岬行き	3.5時間	5～9月(朝)	50名	5名	無	
		環境学習・自然体験	クジラ・イルカ・バ-ドウォッ칭	2.5時間	5～10月(朝)	50名	5名	有	
		環境学習・自然体験	流氷&バ-ドウォッ칭A	1時間	1～4月	50名	5名	無	
	ゴジラ岩観光	環境学習・自然体験	流氷クル-ズ(バ-ドウォッ칭)	1～3時間	1月下旬～3月下旬	60名	5名	無	
		環境学習・自然体験	知床半島クレ-ジング	1時間	4～10月	120名	-	有	
	観光船はまなす	環境学習・自然体験	ホエ-ルウォッ칭	3時間	4～10月	60名	5名	無	
		環境学習・自然体験	流氷クル-ズ	3時間	1～4月	60名	5名	無	
シ-ライフ・ウォッチ	環境学習・自然体験	ホエ-ル(イルカ・クジラ)ウォッ칭	2.5時間	7～9月	-	-	-		
ふるさと体験館	農林漁業・食体験	農・水産の加工体験	-	6～10月	-	-	-		
羅臼国後展望塔	平和学習	北方領土・国後島や羅臼市街、羅臼岳を一望可能	30分	通年	50名	-	有	「北方領土学習のご案内」	
羅臼町郷土資料館	歴史・文化学習	羅臼の郷土資料の展示見学	30分	通年	20名	-	有		

参考資料2：学習資料の素材集

参考資料3：学習資料の構成例

分野	中項目	小項目	
地理	位置、面積、距離	位置、距離	・本土から北方四島までの距離は近く、最も近い歯舞諸島(貝殻島)は納沙布岬から3.7kmしか離れていない。
		面積	・択捉島は日本で最も面積の大きい島で、鳥取県と同じくらいの広さ。また、日本で二番目に大きい島が国後島である。 ・北方四島の面積は沖縄県の2.2倍、福岡県とほぼ同じくらいの広さである。
	自然、動物	地形	・北方四島には火山や河川が多くあり、択捉島には1500m級の火山がある。
		植物	・北方四島では、本州では2,000～3,000mの山にしかない高山植物が平地、草原で植生している、
		動物	・北方四島にはヒグマ、キツネ、周辺海域にはゴマフアザラシやクジラなどが生息している。また、エトピリカなどの珍しい鳥も生息している。
		気象	・千島海流と日本海流の影響により、年間の気温は北海道東部とほとんど変わらない。夏の平均気温は15度前後、冬は-6度前後。
生活・産業	戦前の暮らし	住んでいた日本人の数	・終戦時、北方領土には、約17,000人の日本人が住んでいた。
		生活の様子	・戦前は、四島各島に投場が設置され、小学校や郵便局もあった。
	戦後の暮らし	住んでいるロシア人の数	・現在、北方領土には日本人は一人も住んでおらず、約14,000人のロシア人が択捉島、国後島、色丹島に住んでいる。
		生活の様子	・各島には初等中等学校(小学校から高校段階まで)があり、1,300人の生徒が学んでいる。大学はない。 ・週末は、家庭菜園付きの別荘や温泉施設などのレジャー施設で余暇を過ごす光景も見られる。
	産業	戦前の産業	・戦前、北方領土の周辺海域は世界三大漁場の一つであり、サケ、マス、タラ、カニ、昆布漁などが盛んに行われていた。
		現在の産業	・現在も、水産業は北方領土的一大産業であり、択捉島にはロシアの水産加工工場(ギドロストロイ社)が進出している。
	生活・社会基盤	インフラの状況	・道路が舗装されていなかったり、停電が頻発におこったりしており、都市機能が弱かったが、ここ数年で生活・社会基盤の整備が進んでいる。 ・国後島と択捉島には空港があり、サハリンから定期便が就航している。択捉島では新たな空港建設も進められている。
		医療環境	・医療環境は十分でなく、重症の患者はサハリンか、根室、中標津、札幌の病院で治療を行っている。
歴史	開拓の歴史	開拓の歴史	・日本はロシアよりも100年ほど前に、北方四島や樺太、千島列島を発見し、1644年に編纂された地図には、国後島(クナシリ)や択捉島(エトロフ)の地名が記載され、日本人が渡航していた。(ロシア人が千島をはじめて探検したのが1711年のこと) ・17世紀初頭から、松前藩が北方四島を統治していた。
	国境線の変化の歴史	国境線の歴史	・日露間の国境線が初めて法的に確定したのは、1855年の日露通交条約による。
		現在の法的根拠	・現在、日本が北方四島の帰属を主張する根拠は、1951年のサンフランシスコ平和条約や1956年の日ソ共同宣言による。
	不法占拠の歴史	不法占拠の経緯	・1945年の8月14日に日本がポツダム宣言を受諾し降伏した後に、旧ソ連軍は千島列島や北方四島を占領した。 ・旧ソ連の占領後、島にとどまった日本人も、1947年に強制的に日本本土に引き揚げさせられた。
		法的側面、人道面等不法占拠の問題点の整理	・占領が日本の降伏後であったこと。 ・島民を強制的に退去させたこと。
	戦後の外交交渉の経緯	外交交渉の経緯	・近年も首脳級の交渉は、先進国首脳会議(サミット)やAPECといった国際会合の際などに定期的に行われている。
		これまでになされたロシアとの合意	・近年、1993年の東京宣言や1997年のクラスノヤルスク合意、1998年の川奈合意、2001年のイルクーツク声明等において、北方四島の帰属問題の解決が合意、提唱されている。
	元島民の心境(元島民の高齢化も含む)	元島民の心境	・北方四島は日本の領土であるものの、「行きたいときに行けない」といった辛い思いが語られている。 ・終戦から年月が経過し、元島民の高齢化が進展している。

分野	中項目	小項目	
返還運動	返還運動の始まり	・終戦直後の昭和20年に、根室市長がマッカーサー元帥に陳情書を送ったところから返還運動が始まった。	
	返還運動の変遷	・根室から始まった返還運動は全国に広がり、現在は、全ての都道府県に北方領土の返還を求める県民会議が設置されている。	
	北方領土の日	・日露通好条約が締結された2月7日を「北方領土の日」と定め、毎年、北方領土の返還を求める全国大会が開催されている。	
交流事業	元島民による訪問事業	・昭和39年より、元島民が、パスポート・ビザなしで、先祖の墓参りをすることが許可されている。 ・平成11年より、元島民やその家族が、パスポート・ビザなしで、かつて住んでいた土地を訪れることが出来る自由訪問事業が行われている。	
	ビザ無し交流事業	・平成4年より、日本人と北方領土在住ロシア人との相互理解を目的に、パスポート・ビザなしによる交流事業が行われている。 ・日本からは、元島民や返還運動関係者、教育関係者、環境分野の専門家などが北方四島に渡航し、北方領土在住ロシア人と意見交換をしたり、彼らの家にホームステイをするなどして交流をしている。	
ロシア人の主張	現在の北方四島居住者との交流	・現在、北方四島に居住するロシア人との交流は様々な形で行われており、ロシア側でも、もっと日本のことを知りたいと考える人は多いとされている。	
現在起きている問題 (だ捕など)	安全操業に関する協定	・日本とロシアとの間では、漁業者の安全操業を保証する協定が結ばれている。 ・日本は、ロシア側に安全操業を保証してもらうため、多額の金額を支払って、漁業者が北方領土付近の海で漁を続けられるようにしている。	
	だ捕事件	・しかし、日本の漁業者がだ捕されたり、銃撃され殺されたりする事件が起きている。	